



# 近畿自然歩道 28

## くまぐす 熊楠ゆかりの一方杉を訪ねるみち



ちかつゆのうじこ 近霧王子

明治時代の神社合祀で社殿と社寺林が取り払われた際、この境内にあったスギの保護を強く訴えていた南方熊楠は、その願いが叶わず大きく落胆したという。



ちかつゆめしよと 近霧伝馬所跡

紀州藩が官吏の通行の便宜と公用の文書・荷物の郵送のために設置した役所。馬が12頭常備され、人足は地元民が交代で勤めたという。



のなかけ 大にぬきそくのぼしよ 野長瀬・横矢一族の墓所

野長瀬氏は楠木正成を助け、護長親皇の危急を救った功績から「横矢」の氏を与えられた。その後、秀吉の紀州攻めの際に一族は離散するが、数十年後に再興した。



ちかのじんじゆ 近野神社

金刀比羅神社を基に近隣の近霧、野中、道湯川などの神社を合祀したもの。11月の例祭で奉納される獅子舞は、県の無形文化財に指定されている。



ひめはらのうじこ 比曾原王子跡

平安時代の「熊野御幸記」には「ヒノ原」という名称で登場するが、早い時期に衰退していたようで、現在は江戸時代に建てられた碑を残すのみである。



のなかけんましよと 野中伝馬所跡

野中には11頭の馬が常備され、人足も常勤の者がいたという。西は近霧まで約3km、東は約10km離れた伏拝までの連絡を担当した。



つかさぐらのうじこ 経桜王子

「秀衡桜」の言い伝えから経桜王子という名前がつけられた。若王子権現ともいわれ、この辺りの氏神とされている。境内には「一方杉」がある。



のなかけんましよと 野中伝馬所跡

野中には11頭の馬が常備され、人足も常勤の者がいたという。西は近霧まで約3km、東は約10km離れた伏拝までの連絡を担当した。



のなかけんましよと 野中伝馬所跡

野中には11頭の馬が常備され、人足も常勤の者がいたという。西は近霧まで約3km、東は約10km離れた伏拝までの連絡を担当した。

### 交通情報

▼起点：近霧王子バス停  
(田辺市中辺路町近霧)  
・運行頻度：1日5本程度  
・龍神自動車線  
TEL：0739-22-2100

▼終点：小広峠バス停  
(田辺市中辺路町野中)  
・運行頻度：1日5本程度  
・明光バス線  
TEL：0739-42-3008  
・龍神自動車線  
TEL：0739-22-2100



### 注意事項

- ▼自然は私たちの貴重な財産です。木・草花・動物・岩石等の採取はせず、後世に残せるよう自然を大切にしましょう。
- ▼近畿自然歩道は地域の方の御協力により指定させて頂いているルートです。私有地へ立ち入る際は当該地で定められているルールに注意しましょう。
- ▼ゴミ・空き缶・ビン・ペットボトル類は必ず自分で持ち帰りましょう。
- ▼沿道の住人をはじめ他人の迷惑になるような行動は慎みましよう。
- ▼山岳地のコースなどでは、特に台風・大雨等の後は、落石・倒木・土砂崩れ等の恐れがあるため、十分注意してご利用下さい。
- ▼車道との兼用道もありますので、自動車等に注意してください。
- ▼交通の不便なところや足下の悪いところもあります。あらかじめ調べておきましょう。

### 行程図

0km	1km	2km	3km	4km	5km	6km
近霧王子バス停		5 比曾原王子跡	8 一方杉	14 中川王子跡		小広峠バス停
2.2km		1.2km	0.9km		2.7km	
45分		25分	15分		45分	

距離：70km  
所要時間：2時間10分



いっぽすぎ 一方杉

推定樹齢800年の巨木。南側だけに枝を伸ばす姿からそう呼ばれる。明治時代の神社合祀の際に伐採の危機にさらされたが、南方熊楠の訴えにより守られた。



とがの木茶屋

茅葺の屋根に蓑傘や長椅子と、昔ながらの情緒を残す茶屋。眼下には野中の里や山並みが広がり、旅人の疲れを癒す。「とが」とは方言でツガのこと。



のなが 野中の清水

熊野詣の人々の喉を潤したという湧水。現在も地元の人たちの貴重な飲料水・生活用水として使われており、「日本名水百選」にも選ばれている。



和歌山県朝日夕陽百選

遠く那智山の方向にのみ枝を伸ばす一方杉の巨体が、朝日に映し出される景色はまさに絶景といえる。



ひめはらのうじこ 秀衡桜

平安時代末期、奥州の豪族藤原秀衡が熊野詣をした際、途中に残してきた我が子の無事を祈念して、ヒノキの株にこのヤマザクラを纏いだといわれている。



あべのせいめい 安倍清明の腰かけ石

安倍清明が熊野詣の途中で、この石に腰を掛けて休んでいると、上方の山が急に崩れそうになったので、呪術によって崩壊を防いだという伝説がある。



なかのかわのうじこ 中川王子跡

後鳥羽上皇の参詣に随行した藤原定家は「中の河」と記している。江戸時代には荒廃が進み、社殿が失われていたとされるが、紀州藩により碑が建てられた。



ちかさぐらのうじこ 小広王子跡

江戸時代以前の記録では王子としての記述はなく、地元の人々が小広峠の上に祀っていた祠が、いつの間にか小広王子といわれるようになったという。



### 凡例

- トイレ
- 水場
- 休憩所
- 売店
- 公衆電話
- 駐車場
- バス停
- 駅

### 和歌山県

Wakayama Prefecture  
環境生活総務課 自然環境室  
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1  
TEL: 073-441-2779  
FAX: 073-433-3590  
メール: e0320004@pref.wakayama.lg.jp

このWebサイトで掲載している地図は、国土地理院院長の承認を得て、国測院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである(著作権者 平22近産、第68号)。